



概要

このマニュアルでは、Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータ（ISR）に固有のソフトウェア機能の概要を示します。

次の表に、Cisco 4000 シリーズ ISR に属するルータ モデルを示します。

表 1: Cisco 4000 シリーズルータのモデル

Cisco 4400 シリーズ ISR	Cisco 4300 シリーズ ISR	Cisco 4200 シリーズ ISR
<ul style="list-style-type: none">• Cisco 4431 ISR• Cisco 4451 ISR• Cisco 4461 ISR	<ul style="list-style-type: none">• Cisco 4321 ISR• Cisco 4331 ISR• Cisco 4351 ISR	Cisco 4221 ISR



(注) 特に明記されない限り、このマニュアルの情報は、Cisco 4400 シリーズルータ、Cisco 4300 シリーズルータ、および Cisco 4200 シリーズルータに適用されます。

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- [はじめに \(1 ページ\)](#)
- [プロセス \(2 ページ\)](#)

はじめに

Cisco 4000 シリーズ ISR は、LAN および WAN 接続機能を搭載したモジュール型ルータであり、Cisco 拡張サービスモジュール（SM-X）およびネットワーク インターフェイス モジュール（NIM）などのインターフェイスモジュールを使用してこれを設定できます。NIM スロットでは、ホステッドアプリケーション用のリムーバブルストレージもまたサポートされています。

エンタープライズアプリケーションとサービス プロバイダー アプリケーション向けに次の機能が備わっています。

- エンタープライズ アプリケーション
 - ハイエンド ブランチ ゲートウェイ
 - 地域サイトの集約
 - キーサーバーまたは PfR プライマリコントローラ
 - デバイス統合または Rack in a Box
- サービス プロバイダー アプリケーション
 - 顧客宅内機器 (CPE) でのハイエンド マネージド サービス
 - サービス統合プラットフォーム
 - ルート リフレクタまたはシャドウ ルータ
 - 柔軟性のあるカスタマー エッジ ルータ

ルータは Cisco IOS XE ソフトウェアを実行し、多数の個別プロセスでソフトウェア コンポーネントを使用します。このモジュール型アーキテクチャにより、標準の Cisco IOS ソフトウェアと比べてネットワーク復元力が向上します。

プロセス

ルータの状態を確認し、トラブルシューティングを行う際に役立つバックグラウンドプロセスの一覧を次の表に示します。ただし、ほとんどのルータ動作を理解するうえで、これらのプロセスを理解しておく必要はありません。

表 2: 個別のプロセス

プロセス	目的	影響される FRU	サブパッケージマッピング
Chassis Manager	ハイアベイラビリティ (HA) ステート、環境モニタリング、および FRU ステート制御の管理など、シャーシ管理機能を制御します。	RP SIP ESP	RPControl SIPBase ESPBase

プロセス	目的	影響される FRU	サブパッケージマッピング
Host Manager	IOS プロセスと、基盤となるプラットフォームカーネルおよびオペレーティングシステムの多くの情報収集機能との間のインターフェイスを提供します。	RP SIP ESP	RPControl SIPBase ESPBase
ロガー	各 FRU で実行されるプロセスに対して、IOS ログサービスを提供します。	RP SIP ESP	RPControl SIPBase ESPBase
IOS	ルータのすべての転送およびルーティング機能を実装します。	RP	RPIOS
Forwarding Manager	ESP への設定の詳細のダウンロード、および IOS プロセスへのフォーワーディングプレーン情報（統計情報など）の伝達を管理します。	RP ESP	RPControl ESPBase
Pluggable Services	認証などのプラットフォームポリシーアプリケーションと IOS プロセスを統合します。	RP	RPControl
Shell Manager	統合パッケージの非 IOS コンポーネントに関連するユーザインターフェイス (UI) 機能を提供します。これらの機能は、IOS プロセスに障害が発生したときに診断モードでも使用できます。	RP	RPControl

プロセス	目的	影響される FRU	サブパッケージマッピング
IO モジュール プロセス	NIMまたは拡張サービスモジュール (SM-X) との間で、設定およびその他の制御メッセージを交換します。	IO モジュール	SIPSPA
CPP ドライバプロセス	ESP での CPP ハードウェアフォワーディングエンジンを管理します。	ESP	ESPBase
CPP HA プロセス	CPP ハードウェアフォワーディングエンジンの HA ステートを管理します。	ESP	ESPBase
CPP SP プロセス	Forwarding Manager プロセスの ESP インスタンスで CPP 側機能への高遅延タスクを実行します。	ESP	ESPBase

ルータの機能およびモデルの詳細については、『[Hardware Installation Guide for the Cisco 4000 Series Integrated Services Routers](#)』を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。